

全員賛成で可決

■議案第60号

平成30年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

質疑討論はありませんでした。

全員賛成で可決

■議案第61号

平成30年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第1号)

認定調査委託3万6000円について、県外や県内の遠方での認定調査の対象件数が増えているのかとの質疑に対し、遠方の方が増えるかはわからないが、子どもが親御さんを引き取り、自分の居住地の近くの施設に入居申し込みをするという方が今後も増える見込みであり、また新規の方区分変更の方が去年より増えているとの答弁でした。討論はありませんでした。

全員賛成で可決

総務常任委員会

委員長報告

た委員会は年2回開催を予定し、委員の身分は、非常勤特別職で1回に付き6000円の報酬を予定しているとの答弁でした。

■議案第54号

個人市民税の非課税範囲や基礎控除の見直し、法人の法人市民税に係る電子申告の義務化、加熱式たばこの課税方式の見直しと紙巻たばこ税率の引き上げなどについての改正です。改正に伴う税収の見込みについては、委員会の質疑に対し、当初は減税対象者が多くなると見ていたが、全体の税額の変動への影響は少ないと考えるとの答弁でした。

■議案第56号

福祉関係の条例の題名を短縮するための改正です。特段の質疑はありませんでした。

■議案第72号

湖南省が施工する道路整備事業の道路用地として使用するため、岩根東区他が有する旧慣使用权を廃止するものです。昨年9月の総務常任委員会での提言を受けて作成した、「湖南省村中名義等財産の処分に関する要綱」の平成30年8月1日告示後、最初の案件です。主な質疑は、議案第57号平成30年度一般会計補正予算(第5号)との金額差、要綱第7条「経費を差し引いた額の10分の9の額の範囲内」とあるが慣例なのかとの質疑に対し、補正予算は積算の面積で算出したもので、その後の測量により面積に差異がでた。また第三者が購入する場合は、経費は第三者が負担し差し引かないのが慣例で、今回は市が購入するので経費は差し引かないとの答弁でした。

4議案とも
全員賛成で
可決

事業評価について

ローカルベンチャー事業

Next Commons Lab (以下「NCL」という。)に、業務委託している事業であるが、「地域を重んじた」将来志向の事業である。

- ①NCLに、人選やベンチャー事業の選択についての委託であり、執行部が想定している思いが事業内容や事業の進捗ペースに反映しているか疑問である。
- ②一度起業したら、数年で消える事が無いよう、30年は継続する企業であることを望みます。NCLも、企業の立ち上げだけでなく、この点をしっかりと踏まえて推進していただきたい。
- ③湖南省地域活性化事業であり、その一部分が委託先NCLの事業である点を執行部は改めて認識していただき、遅れの無きようスケジュール感を持ち、推進して欲しい。
- ④地域を巻き込み共に成長する企業になるよう、執行部の指導を期待する。

- ⑤「自由提案」はあるものの、用意された「課題」にどう取り組むか不安があるが、5年後・10年後・その先も継続する企業へ、地域を巻き込んだ企業になることを期待する。

地域まちづくり協議会交付金事業

地域の特色を活かしたまちづくりには、今後も必要な事業であり、地域主体の地域まちづくり協議会運営は、湖南省まちづくりに重要な施策・事業である。

- ①各まちづくり協議会の役員さんは、真剣に事業運営に取り組んでいる事は大いに評価しますが、予算ありきではなく、事業実施主体のまちづくり協議会運営を期待する。
- ②7つのまちづくり協議会が会長だけでなく、お互いに交流を図り、相互理解することで、事業取り組みの温度差・足並みの乱れが解消することを期待する。
- ③市が決められた事業以外への取り組みも拡大していいのではないか。
- ④各まちづくり協議会の中期計画の出し方、事業のお金の使い方などを、再度検討する時期に来ているのではないか。